

竹の子川柳会

なわまわるはじめてできたうしろとび

小一 新野 翔太

花ばたけとてもきれいだゆめみたい

小二 上岡 涼楓

げんじつにゆめがかなうと願ってる

小四 山田 清也

ぐるぐると歯車回るオルゴール

小四 小原 麗羽

こわい夢頭の中からはなれない

小五 梶野 海斗

虫たちのがつそうきいたら元気でる

小五 石崎 海士

観覧車いつもゆっくりまわってる

小六 淵本 ななみ

通学路みんなを見てる花の道

中二 吉良ちひろ

注文をしていた物がすぐ届く

中二 菅元 聖羅

いつか見た夢を追いかけてつかみ取れ

高一 宮崎 京

体育祭ぐるぐるバット目がまわる

高二 宮川 直輝

夜空見る瞳の中に光る星

高二 榎 美味

将来の夢に向かって第一歩

高二 上岡 夢菜

人と虫同じ命だ大切に

高三 山口はると

※学年は平成28年度中のもの

母さんはさすが帰りの旅費も入れ

男武志津江

一期一会笑みは幸せ一ページ

米子 達雄

いい出会い何だかんだで半世紀

熊本 忠真

宴会の主役はいつも俺がやる

平野 文雄

同級会出来なんなのが指揮してる

加藤 桂子

健康に関する本は読んでみる

川添 忠昭

本音など聞きたくなって注ぐお酒

若宮 賢敬

本音では言えない事も酒まかせ

宇津本アヤ子

本の良さ知らずスマホにのめり込む

渡辺 照子

野を駆ける子を追いかけて息切らず

伊勢本 恵

野宿する夏の過路に星が降る

宮川 柳酔

野良仕事腰を伸ばせばホーホケキョ

水野すみこ

そっとして野暮はいま老いの恋

渡辺 光男

粗野たと言うが律儀で憎めない

山本 雅之

ひよし川柳会

鬼北の足跡を辿る…【第1回】

「旧石器時代から」

今年度の「鬼北の足跡を辿る」では、町内に点在する遺跡にスポットを当てて紹介してみたいと思います。

みなさんは、町内で知られている遺跡の数がどのくらいあるかをご存知でしょうか。

遺跡とは、過去の人々が生活した痕跡のまとまりを指します。土地に作られたものは「遺構」、そこで使われた食器や道具などの「モノ」は「遺物」といい、「遺構」と「遺物」の総体が「遺跡」と定義されます。

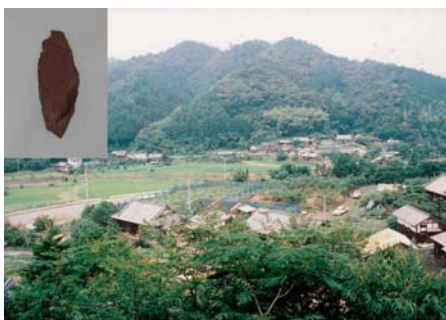
行政用語では、遺跡を含め、土地の中に埋まっている文化財のことを「埋蔵文化財」といいます。また、埋蔵文化財があることが推測される土地のことを「埋蔵文化財包蔵地」といいます。つまり、遺跡の存在が推測される土地ということです。

したがって、遺跡と埋蔵文化財は、厳密に言えばイコールではありませんが、町内で約80箇所余りの埋蔵文化財包蔵地が確認されています。このうちの8割以上が、山の中に残されている中世の城跡や国指定史跡の等妙寺旧境内のような社寺跡で、それ以前の遺跡は6箇所程度しか分かっていません。

今からおよそ3万年前から1万6千年前までの時代を旧石器時代と呼んでいます。列島全体で1万箇所以上の遺跡が確認され、落とし穴や石器を作った場所が主な遺跡となっています。この頃の石器は、ナイフ形石器と呼ばれるものが盛んに製作されます。

町内では、愛治地区清水にある清水倉内遺跡で、赤色珪質(けいしつ)岩という石で作ったナイフ形石器1点が見つっています。この石は、大洲市周辺でしか産出しないもので、町内では採れません。この時代は、狩猟主体の生活と考えられますが、この頃の人々の活動痕跡を認めることができます。

清水倉内遺跡の周辺とナイフ形石器



清水倉内遺跡の周辺とナイフ形石器